

植物防疫所の主な広報活動

パンフレット

使用数：年間約 1 万 5 千部
配布先：都道府県、見学者等

- ・植物検疫の概要説明用
- ・2カ国語（日本語、英語）併記

ポスター

使用数：年間約 5 千枚
配布先：都道府県、海空港等

- ・国内移動規制広報用

ホームページ

年間訪問数：約 9.5 万件(H14 年度)

- ・2カ国語（日本語、英語）
- ・輸入禁止品リスト
- ・輸出入検査手続き
- ・植物防疫所の案内

植物防疫所病害虫情報

発行数：年間 3 回
配布先：都道府県、大学、関係機関等
・国内外の病害虫の情報

リーフレット

〔輸入検疫用〕

使用数：年間約 3.3 万部
使用場所：旅行代理店、航空会社、
海空港出発ロビー、
パスポートセンター等

- ・輸入禁止品の紹介等
- ・8カ国語作成
（日本語、中国語、韓国語、英語、
スペイン語、ポルトガル語、
ロシア語、タイ語）

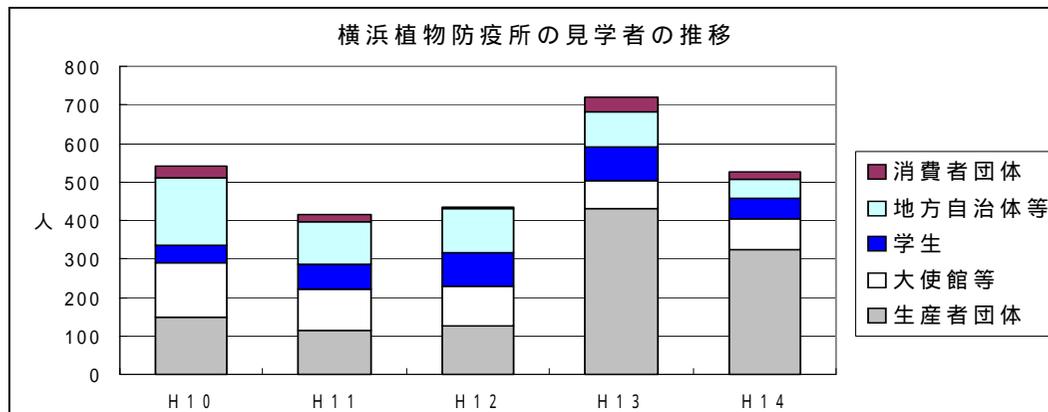
〔国内移動規制用〕

使用数：年間約 3.8 万部
配布場所：都道府県、海空港ロビー
旅行者等

- ・移動禁止植物の紹介
- ・移動制限植物の紹介

見学者対応

- ・横浜植物防疫所年間見学者：43 団体 527 人



ビデオによる植物検疫の紹介

見学者等に対する植物防疫所の業務内容の紹介

- ・2カ国語作成（日本語、英語）

植物検疫がとりあげられている小説の例

1. 大沢在昌 「炎蛹 新宿鮫」

(略) 横濱植物防疫所の防疫官だよ」
「防疫官 - 」
聞き慣れない官名だった。
「身分的には農水省の技官だ。これが身分証だ」
男はコートの下の上着から定期入れを取り出して見
せ「た。農林水産大臣発行の、名刺大のカードが入って
い植物防疫官 甲屋公典」とあった。
(略) 防疫というと、何か悪い病気にでもかかっていた
ん「でそれは厚生省の検疫だ。私は農水省の防疫官とい
っ「たろう」
(略) 「そのワラ細工がなぜ重要なのです？」
言「鮫島は訪ねた。甲屋は鮫島を見あげ、聞き慣れない
葉「を口走った。
「フ「ラ「メ「ウ「ス・プ「ー「パだ。ラテン語の学名だよ。『火
の「蛹』とかいう意味だ。日本名はない。日本にはおらん
か「た「か「の「学「名「で「す「か」
「「何「の「通「り「だ「。「ゾ「ウ「ム「シ「だ」
「「ゾ「ウ「ム「シ「？」
「「甲「虫「の「一「種「だ「。「口「吻「部「が「尖「っ「て「お「り「、「ま「る「で「象「の
鼻「の「よ「う「に「長「い「の「で「ゾ「ウ「ム「シ「と「呼「ば「れ「る」
「「害「虫「に「な「る「の「で「す「か」
甲「屋「は「頷「い「た。
「「イ「ネ「の「大「害「虫「だ「。「日「本「で「は「お「ろ「か「、「ま「だ「北「米「で「も
被「害「が「で「始「め「た「ら「ん「。「ア「ル「ゼ「ン「チ「ン「と「チ「リ「の「一「部「で「、
と「F「・「A「・「O「は「予「測「し「て「お「る」
「「フ「ア「オ「と「い「う「の「は「？」
「「国「連「食「糧「農「業「機「関」
「「そ「の「ゾ「ウ「ム「シ「を「リ「タ「が「も「ち「こ「ん「だ「と「お「っ「し「ゃ「る「の

です」
甲「屋「は「い「ら「だ「た「し「げ「に「頷「いた。
「「そ「う「だ「。「ゾ「ウ「ム「シ「と「い「っ「て「も「、何万種類とおる。
たとえば『イネミスゾウムシ』は、北米ではイネの重
要害虫として知られておったが、日本では昭和五十一年
に愛知県で発見されるまでは存在は確認されんかった。
何らかの形で日本に上陸したのだ」
(略)
「イネワラは禁輸品なのですか」
「朝鮮半島と台湾をのぞけば、どこからであろうと、
イネ、イネワラ、モミ、モミガラ、及びその加工品は、
すべて国内への持込みが禁止されておる」
「知りませんでした」
「そうだろう。中には農協の父つつあんが海外旅行
の土産にと、モミをもって帰ってくることもある。自分
のところの田んぼで育ててみようと思おうらしい。禁
輸品だから駄目だ」といって、食ってかかってくる者も
おる。人の土産をとりあげてどうする気だ、と。防疫
官が守ろうとしておる日本の農業の現場の人間ですら
そうなのだからな。無理もない」
「禁止するのは、やはり害虫を防ぐためですか」
「害虫だけではない。土壌病もある。たとえばワイ
カ病やオウヨウ病、グラッシー・スタント病などは、バ
イザウカなど媒介されるイネの病気で、ヨコト
イは東南アジアで発生しておった病気だが、何らかの形
で日本にウィルスが持ち込まれた結果、広まったのだ」
「農薬では駆除できないのですか」
甲屋はできの悪い教え子に対したように、しかめ面
になっ「た。
「「確「か「に「農「薬「は「効「く「。「い「ろ「い「ろ「な「農「薬「が「あ「る「の「だ「か
ら「、どんな害虫であっても、それを駆除はできるだろ
う。だが我が国では、農水省に農薬登録されておるも
の以外は、使ってはならんことになっておる。農薬が
登録されるまでには、効果に関する実験、人間や他の
農作物に与える影響などについて種々の調査を行わね
ばならん。どんなに急いでも一年はかかる。が、一年
あればフラメウス・プーパは、関東のイネを食い尽く

